



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 渡部 裕幸

安倍首相は個人的主張で、集团的自衛権行使容認を、22日の国会会期末までの閣議決定にむけ、公明党に決断を促した。容認に慎重だった「平和主義」公明党も、行使一部容認にむかっている。断じて認めることはできない。

朝風

安倍内閣が、党内外の批判を押し込み、なにがなんでも行使容認に持ち込もうとしている。与党のなすがまま、野党はこまねいて終わるのか。反対・慎重が過半数である国民世論をさらに盛り上げ、広範な国民運動を展開しよう。

本号の紙面

- 23 中央委員会質疑・答弁
- 23 道本部青年部長会議
- 4 全国情報宣伝セミナー
- 連合「医療・介護シンポジウム」
- 職場だより「日高地方本部発」
- チャレンジナルドレンファースト
- あいくみの国会だより
- 忙中余話(引地圭太)

道本部第119回中央委員会

集团的自衛権行使容認阻止



中央委員会では、当面する闘争方針などを全体で確認。一丸となったたかう意志を固めた=6月6日、札幌市

給与制度の総合的見直し反対！ 人事院勧告期まで全力

道本部は6月6日、自治労会館で第119回中央委員会を開き、3333人(うち女性33人9.9%)が参加した。当面の闘争方針を決定し、「給与制度の総合的見直し」に反対する決議(案)、「集团的自衛権行使容認」に反対する決議(案)と闘争宣言を採択し、総力をあげてたかうことを確認した。

中央委員会では、経過報告、2014国民春闘中間総括、当面の闘争方針などを提起し参加者から、経過4人、方針に12人の発言があった。(2、3面参照)
2014国民春闘は、月例賃金引き上げのたたかいを進めた結果、一時金も含めて一定の成果を得ることができた。今春闘をしっかりと総括し、正規・非正規を問わずすべての働くものの賃上げ、処遇改善の実現にむけ、取り組みを進める。「給与制度の総合的見直し」について、人事院「措置事項案」を提示したが、内容は俸給表全体の水準を引き下げ、地

反安倍勢力結集し政権暴走阻止

道本部あいさつ



執行委員長 山上 潔

今春闘は、月例賃金の引き上げにこだわった。たかいを進めた結果、一時金も含めて一定の成果を得ることが出来た。春闘をしっかりと総括し、今後、支払い能力論に基づく経営側の厚い壁を突き崩して、正規・非正規を問わずすべての働くものの賃上げと、処遇改善の実現を粘り強く勝ち取っていかねばならない。「給与制度の総合的見直し」反対の取り組みは、人事院勧告期までのたたかいが重要。自治労本部に結集して、断固反対のたたかいを組織の総力を挙げ展開していく。政治課題については、安倍内閣の反動的な政治

姿勢に、一層の拍車がかかってきている。特定秘密保護法の強行採決、原発の輸出・再稼働問題など、世論の多くの反対があったにもかかわらず、「二強他弱」の政治勢力のもとで突破してきている。集团的自衛権行使容認を閣議決定することを表明したことは、立憲主義を真っ向から否定する暴挙だ。集团的自衛権行使、原発問題や憲法9条などの政策は、民意を得ていない。安倍総理の暴走を食い止めるため、民主党が中心に立ち大衆的な不満や怒り、反安倍勢力を総結集してたたかおう。統一自治体選挙、衆・参国政選挙の勝利にむけて、組織内はもとよりすべての推薦候補の必勝をめざし、組織の総力をたたかおう。

「戦争をさせない全国署名」175万筆を提出



175万筆を超える署名を集約・提出した。写真左から、福山真劫・平和フォーラム代表、古今亭菊千代さん、鎌田慧さん

戦争はやめなければダメ!

「戦争をさせない1000人委員会」は6月12日、全国各地で取り組んだ「戦争をさせない全国署名」175万筆を安倍首相・衆参両院に提出した。(道本部は、第一次集約時点で80,835筆を集約)これにあわせて、日比谷野外音楽堂での集会と、抗議行動を実施した。集会には、俳優の菅原文太さんも参加し「戦争は絶対にやめなければダメ」と訴えた。

集会と抗議行動には約3000人が参加した

JICHIRO スケジュール

6月	
23日(月)	第20回執行委員会 (札幌市)
26日(木)	第3回自治研推進委員会 (札幌市)
27日(金)	戦争をさせない北海道委員会「講演会」(札幌市)
28日(土)	戦争をさせない北海道大集会 (札幌市)
30日(月)	北海道平和運動フォーラム定期総会 (札幌市)
7月	
4日(金)	日中友好道民運動連絡会議第39回通常総会(札幌市)

道本部ホームページ
自治労北海道 ユーザー名: minnade
組合員専用ページは パスワード: danketsu2013

戦争をさせない北海道委員会

「戦争をさせない」全国署名実施中!

◇目標 組合員×5筆

◇取り組み期限 **延長します!**

2014年8月末まで

◇6月11日時点集約状況 **80,835筆**

「給与制度の総合的見直し」について要請

要請書を手渡す、(左) 千葉議長=6月13日

地公三者共闘会議(道本部・全道庁・北教組)「給与制度の総合的見直し」についての要請行動を行った。

要請にあたり千葉議長は、「見直しは、賃下げ以外のなものでもない。地域経済に大きな影響を与える」と指摘した。これに対し、「国の動向を見ながら適切に対応する」といった回答が出された。

全国情報宣伝セミナー

あなたの成長が「良い機関紙に」

6月5～6日、東京都・TKP市ヶ谷カンファレンスセンターで「全国情報宣伝セミナー」が開かれ、250人が参加した。このセミナーは県本部単組の機関紙担当者を対象に、技術の習得を目的に毎年開かれている。



毎年開かれている情宣セミナーには、全国から250人が参加した＝6月5日・東京都

全体集会では、レーベ
ン企画・南雲聡樹プロデ
ューサーが「どうせやる
なら楽しくやろう、機関
紙づくり」と題して講演
した。

南雲さんは、自身の江
戸川区職労書記長時代の
経験と工夫をもとに、「機
関紙で組合の方針や組合



7つの分科会に分かれ、学習を深めた

の「積み上げ」。自分の
力量とスケジュールを正
確に把握することが大切
だと感じた。書記は機関
紙のプロでなければなら
ないという意識を持ち、
計画性のある機関紙を定
期発行していきたい。

■「音読」で良い記事



佐藤剛平さん
全道庁労連十勝総支部

参加者の感想

■書記は「機関紙のプロ」



櫻井奏さん
全道庁労連網走総支部

機関紙づくりで重要な

「文章の基礎と記事の書
き方の分科会に参加し
例文を「音読」した。「音
読」は黙読と違い、知ら
ない言葉や漢字に気づ
き、調べたりすることで、
理解力が向上すると感じ
た。「音読」を実践すれば、
確実に良い記事を書ける
と実感した。

連合北海道「医療・介護シンポジウム」 介護・福祉は「まちづくり」の視点で



シンポジウムには、170人が参加し、医療・介護の課題を議論した



斉藤圭祐さん
全道庁労連十勝総支部

「文章の基礎と記事の書
き方の分科会に参加し
例文を「音読」した。「音
読」は黙読と違い、知ら
ない言葉や漢字に気づ
き、調べたりすることで、
理解力が向上すると感じ
た。「音読」を実践すれば、
確実に良い記事を書ける
と実感した。

あいくみの 相原久美子の 国会だより



自民党・日本経済再生本部の元に
置かれた「産業競争力会議」におい
て、企業が活躍しやすい国となるた
めには労働者保護の法律が「岩盤規
制」であるとして、企業側の一方的
労働者の使い捨ては許さない
労働者の使い捨てを許さない大
主張でさまざまな提言を出してきて
います。安倍政権はそれらを受けて
残業代を支払わなくても良い法律や
金銭で解雇できる法律、派遣の延長、
廉価の外国人労働者の導入と、経済
成長を楯にしてこの国の働き方を変
えようとしています。連合は、これ
らの流れを阻止するためにさまざま
な集会を開いていますが、残念ながら
ら集まっている人達からも大きな怒
りを感じることができません。

「ジオパーク」で持続可能なまちづくり

【日高地方本部発】みな
さんは「ジオパーク」を
ご存じですか？
ジオパークとは、科学
的に貴重な地質・地形な
どの自然を保全し、教育
や観光、防災に役立て、
地域の持続可能な経済発
展をめざす取り組みで、
アポイ岳ジオパーク（様
似町全域）は、日本ジオ



職場だより

よいあいさつをしよう
と話し、公務員の基本的
な心構えを学習。当局が
行う研修では、町の自然
や歴史・文化を学んでい
ます。こうした学習・研
修を通じ、町を愛し、町
民に愛され、町を誇りに
思えるような人材の育成
に取り組んでいます。
道内にはアポイ岳のほ

か、洞爺湖有珠山、白滝、
三笠、とかち鹿追の5つ
のジオパークがありま
す。「見る・食べる・学
ぶ」ゼミジオパークに遊
びに来て下さいね！
（様似町職執行委員長・
児玉正敏）



ジオパークイメージキャラクターのアポイちゃんをPRする、(左) 樋口美穂さん、(中) 原田卓見さん、(右) 大宮光さん

チャレンジ！チルドレン・ファースト④③

「義務教育化」 財源問題が課題



各自自治体では、子育て
に関するニーズ調査を終
え、子ども子育て支援事
業計画の策定、施設設備
や運営基準に関する条例
化にむけた作業に追われ
ていることと見られます。
そのような状況のなか
か、政府の「教育再生実
行会議」で検討している
学制改革の素案に、「幼児
教育の無償化と義務教育
化が盛り込まれました。
特に、5歳児の義務教
育化が強調されており、
そのための費用としては
2600億円が必要との
試算も出されています。

忙中余話

安倍首相は「戦争できる
国」に突進している。
私は戦争を体験者してい
ないが、戦争の悲惨さや無
意味さは容易に想像でき
る。いままでの平和な社会
は、「自然と当たり前」に
できたものではない。日
本の将来を真剣に考え、
必死に労働運動を実践し
てきた先輩方の「平和を
まもるたたかい」があっ
たからなのではないかと
事実だと思ふ。そのこと
を忘れてはいけない。
いま私たちに求められ
よう！ (引地圭太)